

コミュニケーション技術

問題 74 Cさん(85歳、女性、要介護3)は、介護老人保健施設に入所しており、軽度の難聴がある。数日前から、職員は感染症対策として日常的にマスクを着用して勤務することになった。

ある日、D介護福祉職がCさんの居室を訪問すると、「孫が絵を描いて送ってくれたの」と笑いながら絵を見せてくれた。D介護福祉職はCさんの言動に共感的理解を示すために、意図的に非言語コミュニケーションを用いて対応した。

このときのD介護福祉職のCさんへの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「よかったです」と紙に書いて渡した。
- 2 目元を意識した笑顔を作り、大きくうなづいた。
- 3 「お孫さんの絵が届いて、うれしかったですね」と耳元で話した。
- 4 「私もうれしいです」と、ゆっくり話した。
- 5 「えがとてもじょうずです」と五十音表を用いて伝えた。

問題 75 利用者の家族との信頼関係の構築を目的としたコミュニケーションとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 家族に介護技術を教える。
- 2 家族に介護をしている当事者の会に参加することを提案する。
- 3 家族から介護の体験を共感的に聞く。
- 4 家族に介護を続ける強い気持ちがあるかを質問する。
- 5 家族に介護保険が使える範囲を説明する。

問題 76 Eさん(70歳、女性)は、脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症で言語に障害がある。発語はできるが、話したいことをうまく言葉に言い表せない。聴覚機能に問題はなく、日常会話で使用する単語はだいたい理解できるが、単語がつながる文章になるとうまく理解できない。ある日、Eさんに介護福祉職が、「お風呂は、今日ではなくあしたですよ」と伝えると、Eさんはしばらく黙って考え、理解できない様子だった。

このとき、Eさんへの介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「何がわからないのか教えてください」と質問する。
- 2 「お風呂、あした」と短い言葉で伝える。
- 3 「今日、お風呂に入りたいのですね」と確かめる。
- 4 「あしたがお風呂の日で、今日は違いますよ」と言い換える。
- 5 「お・ふ・ろ・は・あ・し・た」と1音ずつ言葉を区切って伝える。

問題 77 Fさん(70歳、女性)は、最近、抑うつ状態(depressive state)にあり、ベッドに寝ていることが多く、「もう死んでしまいたい」とつぶやいていた。

Fさんの発言に対する、介護福祉職の言葉かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「落ちこんだらダメですよ」
- 2 「とてもつらいのですね」
- 3 「どうしてそんなに寝てばかりいるのですか」
- 4 「食堂へおしゃべりに行きましょう」
- 5 「元気を出して、頑張ってください」

問題 78 **G**さん(70歳、女性、要介護1)は、有料老人ホームに入居していて、網膜色素変性症(retinitis pigmentosa)による夜盲がある。ある日の夕方、**G**さんがうす暗い廊下を歩いているのを**H**介護福祉職が発見し、「**H**です。大丈夫ですか」と声をかけた。**G**さんは、「びっくりした。見えにくくて、わからなかった…」と暗い表情で返事をした。

このときの**G**さんに対する**H**介護福祉職の受容的な対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「驚かせてしまいましたね。一緒に歩きましょうか」
- 2 「明るいところを歩きましょう。電気をつけたほうがいいですよ」
- 3 「見えにくくなってきたのですね。一緒に点字の練習を始めましょう」
- 4 「白杖はくじょうがあるかを確認はくじょうしておきます。白杖を使うようにしましょう」
- 5 「暗い顔をしないでください。頑張りましょう」

問題 79 事例検討の目的に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 家族に介護計画を説明し、同意を得る。
- 2 上司に利用者への対応の結果を報告し、了解を得る。
- 3 介護計画の検討をとおして、チームの交流を深める。
- 4 チームで事例の課題を共有し、解決策を見いだす。
- 5 各職種の日頃の悩みを共有する。